

## むらやま徳内まつり

# 徳内ばやし練習時における

新型コロナウイルス

# 感染拡大防止ガイドライン

発行:むらやま徳内まつり振興会

2020年12月制定

## はじめに

新型コロナウイルス感染状況は、全国では一日当たりの感染者数の記録を更新するなど連日多くの感染者数が報じられ、また山形県内でも連日のように新規感染者の報告が出されており、依然として終息の目途は立たない状況にあります。今年は「むらやま徳内まつり」が中止となり、徳内ばやし各団体は長期間に渡り活動自粛を余儀なくされています。

令和3年度のまつり実施に向け、各団体の活動再開にあたっては、これまでの習慣・慣例を踏襲するのではなく、新しい生活様式に則した活動に切り替えていくことが望まれます。このガイドラインでは、徳内ばやし練習時において、順守すべき事項、注意すべき事項を整理し感染防止ガイドラインとしてまとめました。

## 1、基本的な考え方

一番望ましいのは徳内ばやし練習の参加者に感染者が誰もいないことであり、日常生活の中でもマスク着用やこまめな手洗い・手指の消毒はもちろんのこと、人と接触する機会を減らすよう心掛けたり、接触する際は一定の距離を保つなどの対策が求められます。

重要なのは、仮に感染者が参加していた場合、団体内での感染を最小限度に抑え、クラスターとならないよう、本ガイドラインを順守していただくことです。各団体に固有の事情があるのであれば、本ガイドラインをベースに団体独自のルールを策定し、対策を取っていただくことも可能です。

徳内ばやしは、掛け声や笛の演奏、演舞中の密・接触など、客観的にみて感染対策が難しい活動です。それでも、人を集め、練習場所を確保し、活動を再開するためには、関係者の家族、練習場所の提供者や地域、その他社会全体に対して十分な感染予防対策を講じていることを示し、理解していただくことが必要不可欠であると考えます。



## 2、練習前の注意点

- 屋内、屋外にかかわらず、利用施設が定める感染対策、利用条件などのルールは、事前に利用メンバーに周知させる。
- 団体の代表者および関係者は、ソーシャルディスタンスを意識した練習計画を立てる。
- 練習や打合せで多くのメンバーが集まる場合、その場所や参加者名を後日追跡できるよう、

参加者名簿をリスト化し1ヶ月程度保管する。

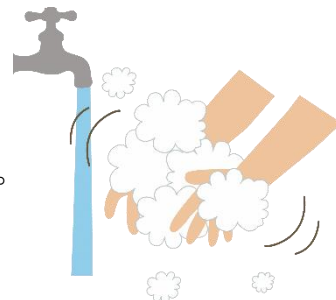
- メンバーへ、接触確認アプリ COCOA の利用を促す。



- 団体代表者は、メンバーの健康状態に十分注意を払い、万が一、メンバーに感染者（陽性者）が発生した場合、濃厚接触者と疑われる他メンバーがいないか、速やかに確認し、練習参加を見送るなど適切に対応する。濃厚接触者か否か、PCR 検査の要否などは、保健所、病院等の指示に従う。

### 3、練習時等における感染予防対策

- 出入りの際の手指の消毒、検温、マスク着用を徹底する。
- 参加者名簿（健康チェック表・別紙）に記録する。
- 発熱症状、倦怠感があるなど体調がすぐれない場合は参加を見送る。
- 練習会場は練習の前後清掃、消毒を行う。
- 換気に注意する。練習前と練習中も一定時間で換気を行う。
- 踊り手の間隔は2m以上開けて練習する。
- 練習中も全員マスクを着用する（演奏などでマスクを着用できない場合を除く）。
- 踊り手の掛け声はできる限り控えることとし、掛け声を出す場合は踊り手同士が対面しないようにする。
- 指導者は常時マスクを着用。指導やミーティング時などはマイクを使用し大声を抑制する。
- 自分で出したゴミや飲み残しの飲み物は必ず自ら持ち帰ること。
- 練習後も参加者全員のマスク着用を徹底し、ミーティングは密を避け短時間で終わらせる。



### 4、オンラインの活用

練習を行う前に、オンラインを活用できないか検討してみてください。集まった練習は、回数が増えれば増えるほど、リスクも増大します。また、メンバーの中には医療関係者など職業柄、練習への参加が難しい方がいるかもしれません。練習のすべてをオンラインにすることは困難ですが、オンラインでの活動があることで、参加できるメンバーが増えるなどメリットもあるのではないのでしょうか。

### おわりに

本ガイドラインは、むらやま徳内まつり開催に向けた「練習」のためのものです。2021年にまつりを実施するためにも、各団体の取組みをお願いします。また、まつり実施にあたっては、本ガイドラインの取組みがまつりへの参加要件となる可能性があります。

2021年にまつりを実施するため、なにより、これ以上の感染拡大を招かないためにも、日頃から個々の感染防止対策をお願いいたします。